


分野	44	防災・安全	<b>通番 116</b>
施策	443	安全・安心な地域づくり	
<b>5年後の目標</b>		自助、互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>防犯啓発・活動支援事業</b>		会計	款	項	58,910,686	防災・安全 推進室
			一般	2	1		
事業の概要							
防犯委員会の活動や地域住民の自主的な防犯活動等に対し、活動支援を行います。 市と警察が協定を締結し、市民、行政、警察の相互連携により、安心・安全が実感できる住みよいまちづくりを推進します。							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	自主防犯活動実施回数				単位	回
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	112	114	116	118	120
	111(平成26年度)	実績	84	128	128		
					年末安心パトロール		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の防犯意識の高揚を図るため、警察と協力した出前ミーティング、防犯委員と自治会が連携して防犯啓発事業や防犯パトロールを行いました。</li> <li>7月には「社会を明るくする運動」に参加し、駅・スーパー周辺にて啓発事業を実施しました。また、梅ヶ丘地域で各戸を訪問し家庭防犯の重要性を訴える防犯診断を行いました。12月には長岡京市一円の年末安心パトロールを実施しました。</li> <li>市防犯委員会に390,000円、5自治会に53,000円を補助しました。</li> <li>青色パトロール車での防犯パトロールを46回実施しました。</li> <li>市内の危険個所に防犯灯の新設、整備を行いました。</li> <li>防犯に係る情報については、青色パトロール車による広報やHPで情報発信を行いました。</li> </ul>							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		市内での窃盗犯認知件数	年々減少傾向にあります。		
	達成度合	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)</li> <li>・平成30年中の市内で発生した窃盗犯は前年より27件減少し223件となりました。今まで継続して実施している啓発活動の成果であると考えられます。</li> </ul>		
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窃盗犯は減少傾向にはありますが、犯罪の手口は年々巧妙化しています。</li> <li>・アポ電等特殊詐欺の被害が多発しています。</li> </ul>			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防犯意識を高めていくために、防犯委員や自治会による青色回転灯パトロール車の積極的な活用を推進し、防犯パトロール等の啓発活動を継続して行うことで地域の防犯意識を高めていきます。</li> <li>・犯罪防止のため、年々巧妙化する犯罪の手口について、警察と連携し、最新の情報を迅速かつ的確に市民に発信します。</li> <li>・高齢者にむけての注意喚起、特殊詐欺対策についての啓発を行います。</li> </ul>

分野	44	防災・安全	<b>通番 117</b>
施策	443	安全・安心な地域づくり	
<b>5年後の目標</b>		自助・互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>安全・安心地域見守り ネットワーク事業</b>		会計	款	項	57,190,336	防災・安全 推進室
			一般	2	1		
事業の概要							
市内全域に犯罪の未然防止と検挙率の向上に大きな効果をあげる防犯カメラを設置します。さらに、防犯カメラにブルートゥースを活用した高齢者・子どもの見守り機能を付加することにより、社会全体の見守り機能を強化し、安全安心が実感できる住みよいまちづくりを推進します。							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標(H30年度～)	市内における刑法犯認知件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	454(平成28年度)	目標	/		400	350	300
		実績	/		326		
<ul style="list-style-type: none"> <li>見守り機能付き防犯カメラ（以下、「防犯カメラ」とする。）(212台)の設置箇所について地域団体等と協議を行いました。</li> <li>防犯カメラ25台の設置を完了しました。</li> <li>防犯カメラの犯罪抑止効果を高めるために、防犯カメラ設置電柱等に啓発看板を設置しました。</li> <li>防犯カメラの設置に向けて、防犯カメラの必要性及び運営について各地域への周知を行いました。</li> <li>防犯カメラのシステムについては、よりセキュリティの高い閉域網のネットワークを活用したシステムの構築を行いました。</li> </ul>					見守り機能付き防犯カメラ イメージキャラクター 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—		—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・防犯カメラの設置等の取り組みにより、市内における刑法犯認知件数の減少に寄与しました。	
	課題等	・今後、防犯カメラの効果の検証を行い、より効果の高い箇所への移設及び抑止効果のある看板増設等の検討が必要です。			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラ未設置分187台の設置と212台の作動をします。</li> <li>防犯カメラ212台が全台作動した際には、広報活動を徹底し、住民が安全安心を実感できるように啓発を行います。</li> <li>防犯カメラの効果の検証を行います。</li> </ul>

分野	44	防災・安全	<b>通番 118</b>
施策	443	安全・安心な地域づくり	
<b>5年後の目標</b>		自助、互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>交通安全普及事業</b>		会計	款	項	1,155,091	交通政策課
			一般	8	2		
事業の概要							
交通事故の減少を図るため、交通ルールへの遵守、マナーを普及するための指導者育成や、啓発活動を行います。特に、自転車事故が多いことから、自転車の安全指導や啓発を強化し、合わせて自転車通行空間の確保について調整を行います。また、新たな「ゾーン30」の検討や幹線道路における交通安全対策のための「事故ゼロプラン」の推進に努めます。							

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	市内交通事故発生件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	199(平成26年度)	目標	193	187	181	175	169
		実績	194	138	120		
	指標	市内交通事故負傷者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
239(平成26年度)	目標	232	225	205	205	203	
	実績	205	158	130			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で2箇所目となる友岡地域に新たなゾーン30を地元自治会協力のもと、警察や市道路管理者と連携し設定しました。</li> <li>・交通安全教育は、教育機関と連携した支援として、小学校教員に対する研修会や、教材・資料等の提供を行いました。幼児は、年長児対象の交通安全行事を行いました。高齢者は、やすらぎクラブ長岡京や市関係課と連携し、単位老人クラブ、サロンやサークル等団体毎の交通安全教室が大幅に増加できました。</li> <li>・各種啓発活動は、交通ボランティアや警察と、市民要望や交通事故多発場所等において、自転車運転者と高齢者を中心に街頭活動を行いました。2月には、神足校区青少年健全育成推進協議会が主体の市民自転車マナーアップデーを開催しました。</li> </ul>							
					 神足市民自転車マナーアップデー		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		市内交通事故発生件数・負傷者数	平成30年中の市内交通事故(人身事故)発生件数と、市内交通事故負傷者数は、ともに前年と比べて下回っており、減少傾向が続いています。	208
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年中の市内交通事故(人身事故)発生件数は120件、負傷者数は130人で、目標値を大幅に達成しました。</li> <li>・平成30年中の市内交通事故死者は、0人でした。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者130人のうち、自転車事故の占める割合が28.5%と高く、また、70歳以上の負傷者数が年々増加しているため、自転車利用者や高齢者を対象とした、より効果的で適切な交通安全教育の手段・手法の確立が課題です。</li> </ul>			

目標達成に向けての次年度以降の対応					
A (行動)	<table border="1"> <tr> <th>方向性</th> <th>対応策等</th> </tr> <tr> <td>1: 計画通りに進めることが適当</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教育については、体系的、計画的な交通安全教育を行うことが望ましく、引き続き知識や経験があり専従できる指導員から、幼、小・中学校や、高齢者の趣味のクラブやサークル等へ資料など機会あるごとに積極的に支援し、タイムリーな情報提供を行っていきます。</li> <li>・高齢運転者と自転車運転者の事故対策についても、引き続き交通ボランティアや関係機関と協同によるマナー向上に向けた活動を街頭で行っていきます。</li> </ul> </td> </tr> </table>	方向性	対応策等	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教育については、体系的、計画的な交通安全教育を行うことが望ましく、引き続き知識や経験があり専従できる指導員から、幼、小・中学校や、高齢者の趣味のクラブやサークル等へ資料など機会あるごとに積極的に支援し、タイムリーな情報提供を行っていきます。</li> <li>・高齢運転者と自転車運転者の事故対策についても、引き続き交通ボランティアや関係機関と協同によるマナー向上に向けた活動を街頭で行っていきます。</li> </ul>
方向性	対応策等				
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教育については、体系的、計画的な交通安全教育を行うことが望ましく、引き続き知識や経験があり専従できる指導員から、幼、小・中学校や、高齢者の趣味のクラブやサークル等へ資料など機会あるごとに積極的に支援し、タイムリーな情報提供を行っていきます。</li> <li>・高齢運転者と自転車運転者の事故対策についても、引き続き交通ボランティアや関係機関と協同によるマナー向上に向けた活動を街頭で行っていきます。</li> </ul>				